

硫黄島における遺骨収集のための特命チーム 第2回会合 議事要旨

日時：平成22年8月26日（木）9：05～9：30

場所：官邸3階南会議室

出席者：阿久津内閣総理大臣補佐官、内閣官房副長官補付内閣参事官（財務担当）、内閣官房副長官補付内閣参事官（厚生労働担当）、外務省北米局北米第一課長、厚生労働大臣官房審議官（援護担当）、厚生労働省社会・援護局援護課長、厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室長、防衛省大臣官房審議官、防衛省大臣官房文書課長、防衛省経理装備局施設整備課長

議事：

〈中間取りまとめ（案）について〉

- 阿久津内閣総理大臣補佐官より、本日は2回目ということで、来年度予算の概算要求に向けての検討に資するため、特命チームの中間取りまとめ（案）について議論する旨の発言。
- 厚生労働省大臣官房審議官より、試掘調査（8／19～8／27）について以下のとおり報告。
 - ・ 米国における予備的調査を踏まえた試掘調査を現在行っているところ。
 - ・ 65年前の資料であり、地形の測り方や土地の隆起等の問題もあることから、複数の箇所について試掘を進めているが現段階では情報が出てきていない。
 - ・ 米国国防総省とも試掘地点について意見交換しており、試掘を続けてまいりたい。
- 厚生労働省より、特命チーム中間取りまとめ（案）について説明。
- 意見交換において、以下のような発言。

（防衛省）

 - ・ 防衛省として、取りまとめ案にあるとおり人的側面の協力体制の拡充や渡航機会の拡充など協力してまいりたい。
 - ・ 平成23年度は、運用中の滑走路下の埋葬地の存否を確認する方法について、技術的検討調査に必要な経費を要求する。
- 特命チームの中間取りまとめが原案どおり承認された。（中間取りまとめに伴い、特命チーム名称も「硫黄島からの遺骨帰還のための特命チーム」に変更。）
- 阿久津内閣総理大臣補佐官より、今後、この中間取りまとめを踏まえて、来年度予算の概算要求を行い、政府部内の意思を統一し、引き続き特命チームとしてしっかり取り組んでいく旨の発言。